

県南教育事務所
教育情報

南nanpu風

平成28年 3月 9日 (水)
No. 15【通巻 第89号】
文責：菊池 靖

生徒指導、1年間を振り返る

不登校児童生徒への支援の見通しと、いじめ防止に向けた自校の取組の振り返り

不登校児童生徒への支援の継続

「児童生徒理解・教育支援シート」による困難を抱える児童生徒への支援を

困難を抱えた児童生徒の1年間の姿を確実につなぐことが大切です。次年度へ向けての具体的な見通しをもち、職員へつなぐ、保護者へつなぐ、関係機関へつなぐことで確実な支援へとつながっていきます。困難を抱えている児童生徒には、個々の特性に合った支援計画を策定し、関係者と連携しながら組織的・計画的な支援を継続させていくことが大切です。右図の支援シートを参考に自校の取組を充実させていきましょう。

(文部科学省ホームページ「児童生徒理解・教育支援シート(試案)」平成27年8月 不登校に関する調査研究協力者会議「不登校児童生徒への支援に関する中間報告」より)

児童生徒理解・教育支援シート(共通シート)

氏名	性別	学年	学年別

児童生徒理解・教育支援シート(学年別シート)

氏名	性別	学年	学年別

児童生徒理解・教育支援シート(協議会・検討会等記録)

〇本人の希望

〇保護者の希望

〇関係機関からの情報

〇その他特記事項

いじめ防止に向けた自校の取組の振り返り確認

【いじめの基本認識】

□「いじめはいかなる理由があっても許される行為ではない」ことを学校全体で共有したか。

【未然防止 児童生徒に培う力とその取組】

□学級活動や生徒会児童会活動などの場を活用し、子ども自身がいじめの問題の解決に向けてどう関わったらよいかを考え、主体的に取り組もうとする態度を育むことができていたか。

【早期発見 いじめの早期発見のために】

□日頃から教職員と子どもが信頼関係を築けるような取組を行ってきたか。
□「心とからだの健康観察」等を活用し、子どもの心情を読み解き具体的な寄り添いとなっていたか。
□アンケートの定期的な実施と活用がなされていたか。

【対応 いじめの発見・通報を受けたときの対応】

□いじめを発見した時の対応が組織化されているか。

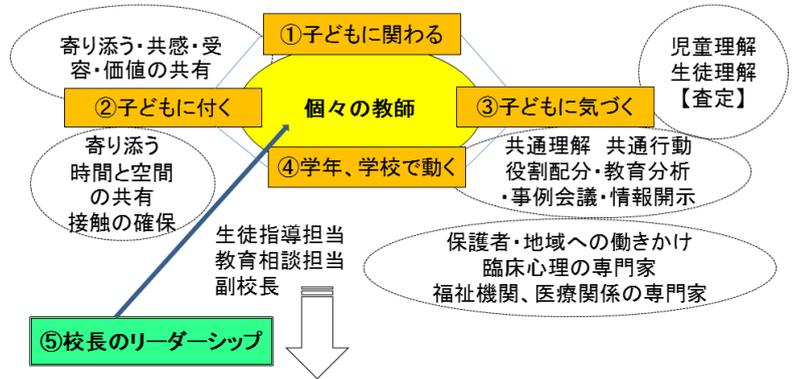
【学校いじめ防止基本方針】

□実効性のある方針へ。本当に使えるものになっているか。
□学校内で読み合わせ等を行い、児童生徒、保護者に示したか。

【いじめについて考える学習】

□いじめについての学ぶ機会が設定されていたか。

未然防止へ向けての組織図



- ①児童生徒・保護者との相談(アセスメント)
- ②事例研究・情報連絡会
- ③校内研修の運営
- ④関係機関との連携推進

出典：「平成27年度いじめの問題に関する指導者養成研修」文部科学省 教授 柳生和男 講師資料



ポスターは平成28年度も校内への掲示を継続し、いじめについて考えるきっかけ等に活用。

《いじめ防止に向けた来年度の取組》

- ☆学校からいじめを根絶するために・・・子ども、保護者、教職員、地域が一体となっていじめについて考え学ぶ機会を継続
- ☆いじめがあったら・・・学校いじめ防止基本方針に照らした取組
- ☆小学校、中学校、そして高等学校卒業後の姿・・・「守る」ことから困難に対処できる人間づくりを目指して
- ☆いじめのない学校・・・子どもの尊厳と人権を守ること

(参照「いじめの問題の今日的課題」岩手大学教育学部岩手大学大学院教育学研究科 山本 奨)